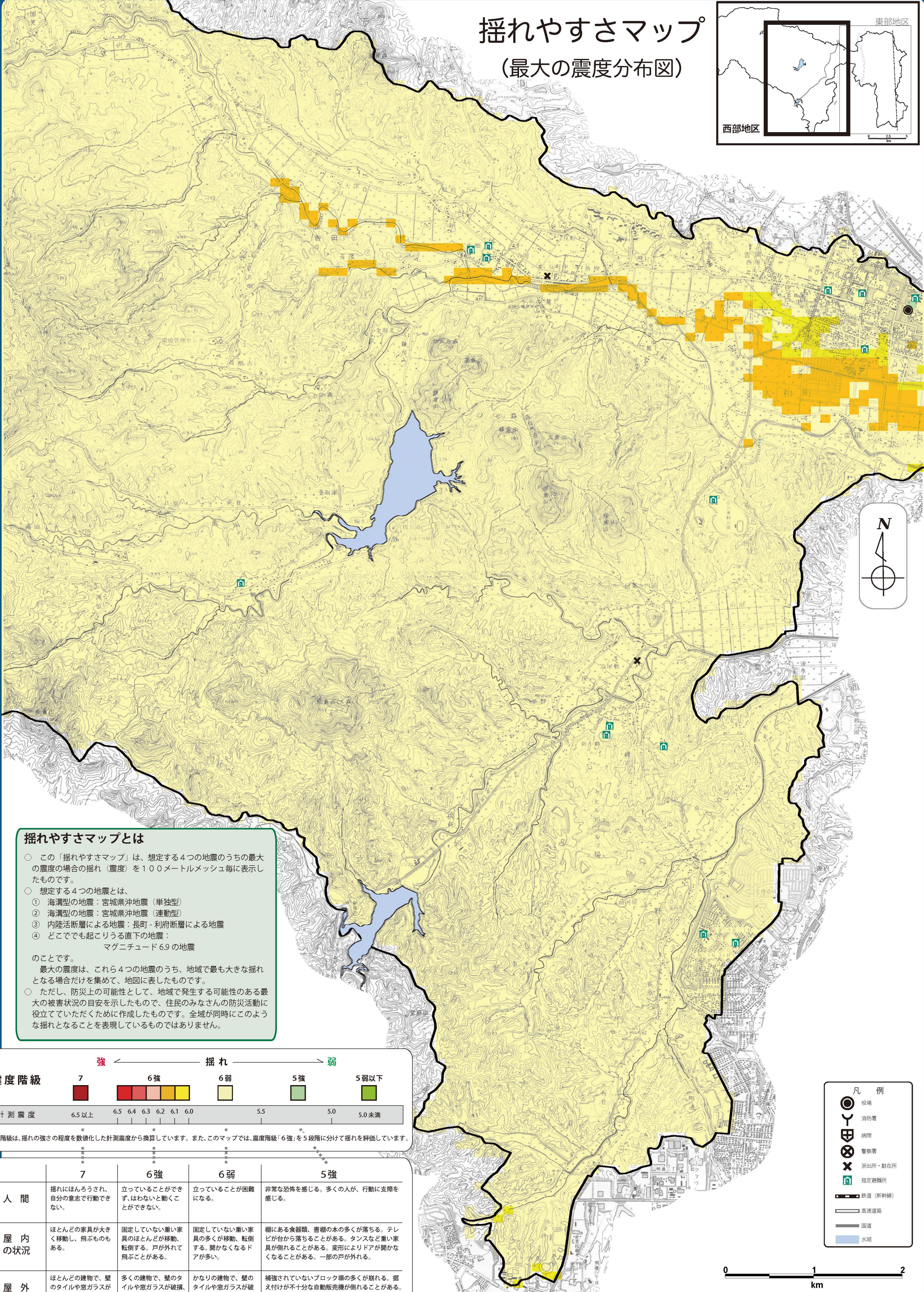
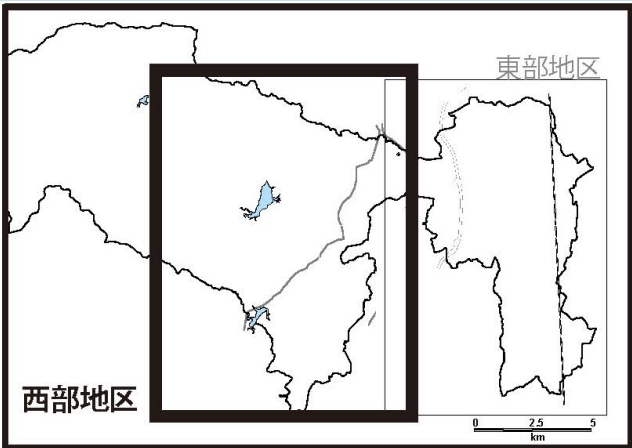
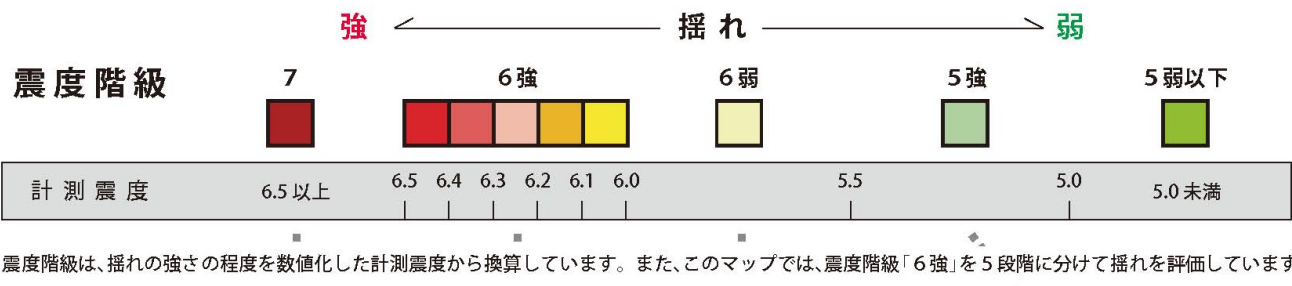


揺れやすさマップ (最大の震度分布図)



揺れやすさマップとは

- この「揺れやすさマップ」は、想定する4つの地震のうちの最大の震度の場合の揺れ（震度）を100メートルメッシュ毎に表示したものです。
- 想定する4つの地震とは、
 - 海溝型の地震：宮城県沖地震（単独型）
 - 海溝型の地震：宮城県沖地震（連動型）
 - 内陸活断層による地震：長町 - 利府断層による地震
 - どこでも起こりうる直下の地震：マグニチュード6.9の地震のことです。
- 最大の震度は、これら4つの地震のうち、地域で最も大きな揺れとなる場合だけをまとめて、地図に表示したものです。
- ただし、防災上の可能性として、地域で発生する可能性のある最大の被害状況の目安を示したもので、住民のみなさんの防災活動に役立てていただくために作成したものです。全域が同時にこのような揺れとなることを表現しているものではありません。



	7	6強	6弱	5強
人 間	揺れにほんろうされ、自分の意志で行動できない。	立っていることができず、はわないと動くことができない。	立っていることが困難になる。	非常な恐怖を感じる。多くの人が、行動に支障を感じる。
屋 内 の 状 況	ほとんどの家具が大きく移動し、飛ぶものもある。	固定していない重い家具のほとんどが移動、転倒する。戸が外れて飛ぶことがある。	固定していない重い家具の多くが移動、転倒する。開かなくなるドアが多い。	棚にある食器類、書棚の本の多くが落ちる。テレビが台から落ちることがある。タンスなど重い家具が倒れることがある。変形によりドアが開かなくなることがある。一部の戸が外れる。
屋 外 の 状 況	ほとんどの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されているブロック塀も破損するものがある。	多くの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。補強されていないブロック塀のほとんどが崩れる。	かなりの建物で、壁のタイルや窓ガラスが破損、落下する。	補強されていないブロック塀の多くが崩れる。据え付けが不十分な自動販売機が倒れることがある。多くの墓石が倒れる。自動車の運転が困難となり、停止する車が多い。



このマップは、宮城県第三次地震被害想定調査（平成15年）によるデータを利用して作成しています。基図は、大和町管内図（平成17年調製）を利用しています。